



6年生も府南寺を訪れ地域学習

6年生は、11月9日(火)5・6限目に総合学習の一環として府南寺を訪れました。事前に学校で取組んだ「書きたい言葉」を書にしてお持ちしました。子どもたちの書いた書には、努力や夢など「自力」を表す言葉と仲間や絆のように「他力」につながる言葉に分けることができ、人にはこの「自力」「他力」の両方ともが大切であると話していただきました。悩んだ時は、自分で考え何とかしようとする力も大切だし、友だちや、家族に相談したり助けてもらったりすることも大切だと教えていただきました。

また、府南寺にある「アイナシの木」について樹木医をして見える中村さんにお話を聞きました。「アイナシの木」は県指定天然記念物で「梨」と「イヌナシ」の中間のものといわれており、その種子はほとんど発芽せず、非常に珍しい植物とされています。三重県に4本しかない木のうちの1本であることを知り、子どもたちは驚きの声をあげていました。そして日本で2番目に発見されたのが、この府南寺さんの「アイナシ」になります。

現在、府南寺さんで子どもたちの作品を展示していただいています。【12月18日まで】



2年生 町たんけんで三宅神社へ

11月12日（金）に2年生が町たんけんで三宅神社に行きました。その時に、獅子舞保存会会長の平子さんにお世話になり、境内の説明をしていただいたり、三宅神社に続く獅子舞の獅子頭を見せていただいたりしました。子どもたちは、初めて見る子もいて、獅子の迫力に興味をもって話を聞いていました。

今後は4年生も社会科の勉強でも、お世話になることになっています。こうして、地域の方のご協力を得て、子どもたちの学びは成り立っています。本当にありがとうございます。



いじめ防止強化月間 11月

11月は「いじめ防止強化月間」です。

ピンクシャツ運動の始まりは、カナダのハイスクールで実際にあった出来事からです。ある日ピンクのシャツを着て登校したことをからかわれ、さらに暴行を受けた生徒がいました。それを聞いた上級生の2人が、いじめに反対するために何か行動を起こそうと考え、クラスメイトに呼びかけ、翌日にピンクのシャツや小物を身に付けて登校したのでした。ピンクのものを身に付けることでいじめ反対の意思を表したことから、ピンクシャツ運動が始まりました。三重県ではこのピンクシャツ運動に4月と11月を強化月間として取り組んでいます。いじめを許さないという意味を、ピンクのもので表現するという、誰もが行動にうつせる活動です。学校でも子どもたちに伝えています。

また、いじめアンケートを実施し、子どもたちの声を見逃さない取組を行っています。いやな思いをしたり、困ったりしていると回答した児童には、必ず個別に話を聞き解決できるよう取組を進めています。ご家庭でも気になる様子がありましたら、お知らせください。

ピンクシャツ運動実施しています

